

令和5年度12月補正予算

参 考 資 料

	(補正予算資料)	
	頁	頁
愛知県基幹的広域防災拠点事業計画地内における 埋蔵文化財発掘調査を実施します	1	5
ゼロエミッション自動車の普及加速に向けて、取組を拡大します	2	5
首都圏から愛知県への移住支援を推進し、地方の担い手確保を促進します	3	6
技能五輪国際大会の本県招致に向けた取組を進めます	4	6
豊橋市新アリーナの整備に向けた取組を支援します	5	7

愛知県基幹的広域防災拠点事業計画地内における 埋蔵文化財発掘調査を実施します

防災安全局防災部防災危機管理課
防災拠点推進室
内線 5455・2524
(ダイヤル)052-954-7478

予算額 24,832千円
(外に債務負担行為 294,661千円)

○ 調査範囲

調整池建設予定地等 9,047 m²

○ 内容

- ・ 遺構や遺物の発掘調査
- ・ 遺構や遺物の記録 (測量及び写真撮影)

○ スケジュール

2024年1月～2024年7月 発掘調査
2024年2月～2025年3月 調整池工事

【事業計画地 (豊山町青山地区)】



遺構や遺物の発掘調査 (イメージ)



遺構や遺物の記録 (イメージ)

ゼロエミッション自動車の普及加速に向けて、 取組を拡大します

予算額 137,258千円
(既決予算額 371,668千円→補正後 508,926千円)

環境局地球温暖化対策課
自動車環境グループ
内線 3037・3038
(ダイヤル)052-954-6217

電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）、燃料電池自動車（FCV）等の導入に対する補助金の申請増加を踏まえ、ゼロエミッション自動車の普及加速に向けた取組を拡大します。

○先進環境対応自動車導入促進費補助金 ※当初予算時と同じ

- 補助対象者
旅客・貨物運送事業者、中小企業等の事業者、自動車リース事業者
- 主な補助対象車両・補助額

対象車両	補助額
EV乗用車	3ナンバー : (一充電走行距離(km)-200) × 2千円 3ナンバー以外 : 一充電走行距離(km) × 1千円 ※いずれも上限400千円
PHV乗用車	200千円(定額)
FCV乗用車	600千円(定額)



電気自動車（EV）



プラグインハイブリッド
自動車（PHV）



燃料電池自動車（FCV）

首都圏から愛知県への移住支援を推進し、 地方の担い手確保を促進します

労働局就業促進課
若年者雇用対策グループ
内線 3435・3434
(ダイヤル)052-954-6366

予算額 38,775千円
(既決予算額 24,164千円→補正後 62,939千円)

東京一極集中の是正、地方の担い手不足に対処するため、市町村を通じて支給する「移住支援金」により、首都圏からの移住支援を推進し、地方の担い手確保を促進します。

○ 対象

首都圏から移住して県内の中小企業に就職した者等に対して「移住支援金」を支給する市町村（県内 52 市町村）

○ 補助率

3 / 4

○ 概要

支給要件

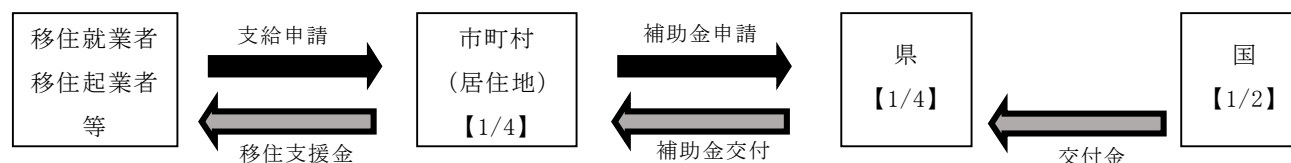
東京 23 区内に通算して 5 年以上就業又は在住し、移住後 1 年以内に
県が運営するマッチングサイトの掲載求人就業した者 等

支給額

世帯：1,000 千円※、単身：600 千円

※18 歳未満の世帯員を帯同して移住する場合は、18 歳未満の者 1 人につき最大 1,000 千円加算（市町村ごとに加算額は異なる。）

支給スキーム



技能五輪国際大会の本県招致に向けた取組を進めます

労働局産業人材育成課
技能五輪・アビリティック推進室
国際大会グループ
内線 3586・3585
(ダイヤル)052-954-7451

予算額 14,827千円
(既決予算額 4,026千円→補正後 18,853千円)

2028年技能五輪国際大会※1の日本・愛知への招致に向け、WSI※2事務局による検証訪問（現地調査）に対応するなど、招致活動を推進します。



○ WSI 事務局による検証訪問（現地調査）の受入れ

立候補国・都市が開催基準を満たしているかを確認するために WSI 事務局が行う検証訪問への対応

<日程>2024年3月頃の3日間（予定）

<内容>競技会場・ホテル等の現地視察、検証会議（プレゼンテーション）、歓迎レセプション等

○ 開催地を PR する資料の作成

検証訪問等において本県を PR するリーフレットの作成

【2028年大会招致スケジュール（想定）】

年度	主なスケジュール
2023	国として立候補を表明（11月） WSI 事務局による検証訪問（3月）
2024	WSI 総会（フランス・リヨン）で開催地決定（9月）

※1 2年に1度、世界各国・地域の青年技能者（原則22歳以下）が一堂に会し、技能レベルの世界一を競う大会。WSI加盟国のうち約60か国・地域から1,000名以上が参加。日本では過去3度開催（1970年東京、1985年大阪、2007年静岡）。2026年大会までは開催地が決定済。

※2 技能五輪国際大会の運営組織。本部はオランダのアムステルダム。86か国・地域が加盟。

スポーツ局愛知国際アリーナ課
施設整備支援グループ
内線 2289・3650
(ダイヤルイン) 052-954-6095

豊橋市新アリーナの整備に向けた取組を支援します

債務負担行為 27,500千円

豊橋市新アリーナにおいて、愛知県新体育館（愛知国際アリーナ）とスポーツ大会やイベントの連携を図り、相乗効果を上げるとともに、賑わいを創出することにより、東三河地域のスポーツ振興及び地域振興を促進します。

1 補助対象経費

豊橋市が実施する事業者公募・選定に係る経費

2 補助率

1 / 2

3 豊橋市新アリーナ整備・運営基本方針

- ・ 多様な「観る」機能を備えた施設
- ・ 広域的な大会開催や日常利用の機能を備えた施設
- ・ 憩いと交流・まちなかの賑わい創出につながる施設
- ・ 地域の防災拠点機能を備えた施設
- ・ 人にやさしく環境に配慮した施設
- ・ 民間活力を活かした公園一体での整備・運営

4 県との連携

東三河地域のスポーツ振興及び地域振興を目的に、愛知県新体育館（愛知国際アリーナ）と一体となり、大規模スポーツ大会やイベントの同時開催を行っていく。

【豊橋公園 ゾーニングイメージ図】



<スケジュール>

2023年8月	基本計画公表
2023～2024年度	事業者公募・選定
2024～2027年度	設計、建設
2027年度中	豊橋市新アリーナ開業